

研究成果報告会における発表テーマ

○『海外との広域的な連携に関する研究』

代表者名	研究テーマ	概要
佐藤 遼 (東京大学)	日本の多文化共生政策の推進による海外人材との知識交流の形成効果～米国・台湾・タイ在住若年層専門人材の日本との交流意識に着目して～	海外との広域経済連携圏の形成やイノベーションの促進に向けて、日本の多文化共生政策の推進が海外人材との知識交流の形成にもたらす効果を調査により明らかにし、国土・地域政策に提言を行う。

○『都市・地方レベルでの国土政策・地域政策のあり方に関する研究』

代表者名	研究テーマ	概要
松川 寿也 (長岡技術科学大学)	リニア中央新幹線の開業を見据えた地域間連携型土地利用マネジメントに関する基礎的研究	リニア駅設置による効果やその影響を大きく左右する土地利用関連の諸計画と規制誘導方策のあり方を、地域間連携の視点を踏まえて実証的に考究する。
阿部亮吾 (愛知教育大学)	名古屋大都市圏をモデルにした持続可能な地域政策のための基礎研究－人口減少時代のコンパクト都市圏モデルを目指して－	日本 3 大都市圏の一つである名古屋大都市圏を対象に、都市圏構造の時空間的変容と縮小の様相を分析し、人口減少時代に見合うコンパクトで持続可能な、新しい都市圏モデルにもとづいた地域政策を提案する。
河上 哲 (近畿大学)	産業集積による知識のスピルオーバーと地域生産活動のイノベーションに関する基礎的研究	輸送用機械器具製造業をはじめとする製造業の集積に特徴がある名古屋大都市圏を主要な対象地域とし、製造業の事業所データを用いて、産業集積と事業所の生産性との関連を実証分析する。

○『地域課題の解決に関する研究』

代表者名	研究テーマ	概要
武田 裕之（大阪大学）	人口減少社会に向けた適正な都市規模の検討	人口減少社会に向け、集約型都市構造の構築に向け人口動態を踏まえながら都市規模を検討するとともに、都市移転を行う場合の移転先と移転プロセスについて提案する。
永富 聡（株式会社エックス都市研究所）	地域まちづくりにおける市民ファンドの役割とその促進策の検討	地域まちづくりにおける市民ファンドの役割を整理するとともに、5つ程度の地域を対象にヒアリングを行い、市民ファンド運営主体の区分（行政・民間）を軸にして現況課題の把握とその促進策の検討を行う。

○『SNS等を活用した新たな地域活性化に関する研究』

代表者名	研究テーマ	概要
鬼塚 健一郎（京都大学）	ソーシャルメディアを活用した農村地域コミュニティの活性化要因の解明－全国農村地域におけるFacebook ページを対象とした包括的な分析	これまでにあまり扱われてこなかった農村地域コミュニティの活性化を目的として自治体、NPO、地域支援団体、地域住民団体等がFacebook 活用に取り組む事例について網羅的に収集し、比較分析を通じて活用の活発化要因を明らかにすることを目的とする。

（敬称略、50音順）